

## 「徳島過疎地域持続的発展方針・後期方針（案）」に係るに係るパブリックコメント実施結果について

令和7年9月11日（木）から令和7年9月30日（火）までに、「徳島過疎地域持続的発展方針・後期方針（案）」について、パブリックコメントを実施したところ、20名の方から31件の御意見を頂きました。寄せられた御意見に対する県の考え方は次のとおりです。

No.	御意見・御提言等	御意見に対する県の考え方
1	徳島県が、島根県海士町の取り組みをモデルケースにする。	<p>本県には、島根県海士町と同様、多くの素晴らしい文化資源等があり、伝統的な建造物が周囲の自然環境と一体となった地域の活性化にも取り組んでおります。令和4年度からは、重要伝統的建造物群を活かした「魅力的なまちづくり」として、「三好市東祖谷山村落合」「美馬市脇町南町」「牟岐町出羽島」の過疎地域3地区において、毎年場所を変えながら、講演会や周辺ウォーキングなどを実施しているところです。この他、徳島県立文学書道館では文学や書道に特化した特別展や、「とくしま文学賞」（公募型）を実施するとともに、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷では人形浄瑠璃の定期公演を毎日実施しており、引き続き、地域の歴史や風土を生かした「あわ文化」の魅力発信に努めて参ります。</p> <p>また、関係人口となる徳島ファンの創出、拡大を図るため、令和7年8月29日にオンラインコミュニティ「とくしまLINK」を開設しました。とくしまLINKでは参加者が「徳島」について自由に発信、交流する場として御活用いただくとともに、県からも移住フェアやイベント案内など様々な情報を発信して参ります。</p> <p>さらに、県南部においては、きゅうり産地の維持・強化のため、地元市町・JAなど関係機関との連携により、移住就農を含む担い手の確保や先進技術の導入などに取り組む「きゅうりタウン構想」を推進しています。また、「持続可能な水産業」の実現に向け、浜の主体的な取組を後押しすることは重要であり、県では、意欲ある漁業者のチャレンジを積極的に支援しています。</p> <p>加えて、島根県海士町の高校魅力化に関する取組については、本県も先進的な取組として参考にさせていただいております。その取組の中心となった岩本氏には、今年度に設置した「徳島県公立高等学校の在り方検討会議」の委員として参画いただき、御経験をふまえた貴重な御意見を頂いております。</p> <p>この他、海士町複業協同組合の取組は、「特定地域づくり事業協同組合制度」の先進事例であることから、本県における地域づくり人材の確保に向け、海士町の取組も参考にさせていただきます。</p> <p>なお、他の取組につきましても、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
2	<p>徳島県が主体となって、それぞれの各過疎地域の地域資源を活用しての持続的発展を行う。</p> <p>※具体的には、那賀町の木頭すぎの間伐材を活用しての「木質バイオマスエネルギー発電事業」の取り組みを行う。</p> <p>⇒岡山県真庭市の木質バイオマスエネルギー発電の取り組み</p> <p>※三好市祖谷地域での祖谷温泉の入浴・祖谷すぎの森林浴・祖谷歴史文化道（平家落人伝説の道）とを組合せた取り組みを行う。又、同時に「祖谷の粉ひき節日本一大会」も開催する。</p> <p>※神山町の神山まるごと高等専門学校を慶應義塾大学理工学部直轄の慶應義塾大学理工学部附属神山まるごと高等専門学校にする。</p>	<p>過疎地域においては、人口減少が進む一方、豊かな自然や歴史・文化など多様な観光資源を有しております。県においては、このような本県ならではの観光資源をテーマにしたコンテンツ造成に取り組んでいるところであり、今後も、過疎地域における観光資源の活用を積極的に進めて参ります。</p> <p>また、「木質バイオマスエネルギー発電事業」の取組への御意見については、地域の森林資源の活用と、再生可能で地球環境に優しい「カーボンニュートラル」なエネルギー利用に寄与するものと認識しており、那賀町では木質チップ加工場を整備し、木質バイオマス発電施設の燃料として、供給に取り組んでいます。</p> <p>その他、頂きました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
3	<p>徳島県が徳島過疎地域持続的発展の実現に向けて、徳島過疎地域を「地上の桃源郷」、「地上の理想郷」にする。</p> <p>※幸福度日本一の徳島県の創造を図る。</p>	<p>頂きました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

No.	御意見・御提言等	御意見に対する県の考え方
4	<p>過疎地域における交通運輸の利便性の確保を図る。 ※JR土讃線のJR阿波池田駅⇄JR大歩危駅間の区間シャトル普通列車の増便を行う。</p>	<p>県では、令和元年度に「次世代地域公共交通ビジョン」を策定し、市町村や交通事業者など関係者の役割分担と連携により、公共交通の最適化、利便性の向上、利用促進の3つの柱に沿い、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向け取組を進めています。</p> <p>御提言を頂きました普通列車の増便について、JR四国では、近年の運転士不足等の影響により、令和7年3月ダイヤ改正においても四国内各路線の減便等を行っている状況です。</p> <p>県においては、JR四国と連携し、路線維持に必要な乗務員確保に取り組むとともに、JRIに対し、人材確保に一層の注力を行い、運行本数をはじめ地域に求められる利便性を確保するよう、要望を行っているところです。</p> <p>また地域の移動手段の確保に向けては、交通事業者や市町村と連携し、地域の交通資源を最大限活用することが重要であることから、モーダルミックスや公共ライドシェアなどの取組を推進しているところであり、今後とも、市町村等との連携のもと、過疎地域における公共交通の利便性の確保に取り組んで参ります。</p>
5	<p>徳島県西部圏域の過疎地域の中山間地域に、スマートアグリ事業で太陽光利用型野菜植物工場又はLED人工光型利用野菜植物工場を建設する。</p>	<p>食料の供給力を維持・発展させるためには、農業の収益性を向上させることで、魅力的な産地を形成していく必要があります。県では、労働生産性が高く、安定生産が可能となる施設園芸の拠点を創出するため、農業者団体や企業参入による大規模施設園芸ハウスや植物工場の整備を推進しています。</p> <p>徳島県西部圏域の中山間地におきましては、夏秋イチゴで環境モニタリング機器や環境制御機器などのスマート農機を導入するなど、施設栽培のスマート化を推進しているところであり、頂きました御意見について参考にさせていただきながら、中山間地域における農業の生産力強化について検討してまいります。</p>
6	<p>徳島過疎地域の道の駅における地域活性化を推進する。 ※貞光ゆうゆう館（剣山登山の拠点基地にする）、鷺の里、穴喰温泉（ホテルリビエラししくいと一体化を図る）、もみじ川、（もみじ川温泉と農村直売所あいおいとの一体化を図る）大歩危（道の駅の大歩危の駅長は子啼き爺にして、JR大歩危駅との一体化を図る）、にしいや（祖谷渓温泉との一体化を図る）、わじき、ひなの里かつら（勝浦観光みかん園とJAひがしとくしまのよってネ市との一体化を図る）</p>	<p>過疎地域の道の駅における地域活性化につきましては、設置者である市町村に伝えるとともに、県としても必要な技術的助言を行って参ります。</p> <p>また、県では、生産者と消費者との交流拠点である農林水産物直売所等を活用し、旬の生産物や地域で特色のある生産物の選び方や食べ方などの情報を積極的に発信することにより県産農林水産物への理解を深め、消費者と生産者の信頼関係を構築する取組を推進しています。</p> <p>頂きました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
7	<p>徳島県が阿讃山麓広域農道・阿讃中央広域農道・阿讃西部広域農道を利用して、阿讃農道空港を開港する。 ※飛騨農道空港（飛騨エアパーク）、笠岡農道空港（笠岡ふれあい空港）、豊肥地区農道空港</p>	<p>農道の整備については、農産物の生産、輸送だけでなく農山村地域の生活環境の改善に加えて、災害発生時の迂回路として重要と認識しており、農道の整備に取り組んでいます。</p> <p>なお、御提案のあった農道空港については、農産物の空輸のために整備されたもので、現在は高速道路網が整備され、トラック輸送が優位となっていることから、実現が困難であると考えています。</p>
8	<p>建設業は地域経済・雇用を支え、また災害時の復旧など、過疎地域では、なくてはならない存在ですが、若者が就業しなくなり、職人の確保に苦慮していると聞きました。若者の人材確保にしっかり取り組んでほしいです。</p>	<p>県では、地域経済を支える人材を確保するため、労働局や教育機関等の関係機関と連携し、新規学卒者や若年者の県内就職・定着を支援する総合的な取組を進めています。県内外への就職支援窓口の設置、コーディネーターによるインターンシップの推進、合同企業説明会等の就活イベントの実施、就職支援情報サイト「ジョブナビとくしま」による情報発信に取り組んでいます。</p> <p>また、県では建設業の未来を支える若年者の入職を促すため、週休2日や適切な賃金水準の確保などによる働き方改革の推進、ICT活用工事の拡大などによる生産性の向上を図るとともに、小中学校・高校を対象とした出前講座や工業系高校生を対象とした建設現場見学会など魅力ややりがいの発信を行っており、引き続き、建設業の人材確保に取り組んで参ります。</p>

No.	御意見・御提言等	御意見に対する県の考え方
9	<p>過疎地域には、阿波踊りほど有名ではないものの、さまざまな地域文化があるので、そういった文化を掘り起こし、管理し、発信していけるような政策を推進していただきたい。</p>	<p>本県には、世界に誇る伝統芸能「阿波おどり」をはじめ、「阿波藍」、「阿波人形浄瑠璃」、「ベートーヴェン第九」など、多彩で個性豊かな「あわ文化」が多く根付いています。</p> <p>徳島県立阿波十郎兵衛屋敷や徳島県立文学書道館においては、分野に特化した企画や定期公演、常設展などを実施しているほか、阿波人形浄瑠璃や阿波藍については、体験や国内外への派遣等を通じて、その普及と振興に努めています。</p> <p>また、「歴史・文化」など本県ならではの観光資源をテーマにしたプロジェクトチームを立ち上げ、現状や課題を共有するとともに、情報発信やイベントの実施をはじめとした様々な事業を推進しているところです。</p> <p>今後とも、市町村や地域の事業者等と連携し、地域の風土に根ざした個性豊かな資源を活かした「あわ文化」の魅力発信、地域文化の振興に努めてまいります。</p>
10	<p>過疎地域は小規模の学校が多く、そこにはデメリットもあるかと思いますが、先生が一人一人の性格や理解度等をより把握しやすい等、メリットも多数あると思います。そういった多人数の学校にはない魅力を伸ばしていくことはできないでしょうか。</p>	<p>過疎地域において小規模校化が進む中、社会の変化に対応した魅力ある学校づくりを推進しているところです。頂きました御意見につきましては、今後、施策をさらに推進していく上での参考とさせていただきます。</p>
11	<p>過疎地域は山中や海沿いの地域が多いと感じます。災害時の土砂崩れや津波による浸水がないように、公共施設は高台移転等、安全な地域への整備をお願いします。</p>	<p>公共施設の整備に当たっては、南海トラフ巨大地震をはじめとする自然災害等の影響を十分に検討した上で進めさせていただきます。</p> <p>なお、「公共施設の高台移転」につきましては、庁舎等の整備・改修の一例として、後期方針に記載いたします。</p>
12	<p>徳島県内の過疎地域の魅力を感じたいのですが、過疎地域内でおすすめの観光ルートがあればいくつか教えてほしいです。</p>	<p>本県は、豊かな自然や歴史・文化など多様な観光資源を有しています。</p> <p>具体的なおすすめモデルコースや観光コンテンツは徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」のほか、県東部（イーストとくしま観光推進機構）、県南部（みなみ阿波観光局）、県西部（にし阿波～剣山・吉野川観光圏）の各地域のウェブサイトをご覧ください。</p>
13	<p>私の故郷も高齢化が進み、とうとうお祭りも開けなくなったと聞いており、とても寂しい気持ちです。</p> <p>地域のつながりを育んできた行事が途絶えることは、住民の絆や郷土への誇りが薄れていくことにつながるのではないかと心配しています。</p> <p>伝統を守り、生まれ育った地域を次の世代に受け継いでいくために、是非とも積極的な過疎対策をお願いします。</p>	<p>「地域の伝統文化の継承・振興」をはじめとする様々な課題に対し、過疎対策の方針となる「徳島県過疎地域持続的発展方針」のもと、県と市町村が一体となって過疎対策を推進して参ります。</p>
14	<p>今は車の運転できるけど、あと何年できるか。高齢者は買物と病院が欠かせない。民営バス、コミバス、タクシーなど移動手段の確保をお願いしたい。</p>	<p>県では、令和元年度に「次世代地域公共交通ビジョン」を策定し、市町村や交通事業者など関係者の役割分担と連携により、公共交通の最適化、利便性の向上、利用促進の3つの柱に沿い、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向け取組を進めています。</p> <p>特に、過疎地域における移動手段の確保については、これまで、市町村に対して地域内のバス運行経費や車両更新などに係る支援を行っているほか、今年度においては、デマンドバスをはじめとする「公共ライドシェア」を導入する市町村に対する支援制度の創設など、地域の実情に応じた移動手段の確保に向け取り組んでいます。</p> <p>また、全国的な課題となっている運転手不足については、運転手確保に向けた勉強会の開催、二種免許取得に対する支援などにより、公共交通の担い手確保に取り組んでいるところです。</p> <p>地域の移動手段の確保に向けては、交通事業者や市町村と連携し、地域の交通資源を最大限活用することが重要であることから、モーダルミックスや公共ライドシェアなどの取組を推進しているところであり、今後とも、市町村等との連携のもと、過疎地域における公共交通の利便性の確保に取り組んで参ります。</p>

No.	御意見・御提言等	御意見に対する県の考え方
15	<p>徳島自動車道の早期の完全四車線化の運用開始によって、企業立地の推進や観光振興の推進を行う。</p> <p>※具体的には、徳島自動車道の脇町IC、美馬IC、井川池田IC近くに、新たな企業産業工業団地を造成して企業立地を推進する。</p> <p>※具体的には、美馬市脇町うだつの町並みを「阿波の小江戸」にして、観光振興の推進を行う。</p> <p>⇒栃木県栃木市、埼玉県川越市、千葉県佐原市香取、静岡県磐田市竜洋町、滋賀県彦根市、備中高梁市、愛媛県内子町の例</p> <p>※具体的には、美馬市脇町が、映画「虹をつかむ男」(山田洋次監督・西田敏行主演)のロケ地になったことをPRする。</p>	<p>御提案いただいた「うだつの町並み」や映画「虹をつかむ男」を活用した観光情報の発信については、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p> <p>その他、頂きました御意見につきましては、関係する自治体や事業者へ情報共有させていただきます。</p>
16	<p>徳島自動車道の池田PAに、山岳ロッジ風の売店と軽食コーナーを開業する。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、管理者である西日本高速道路株式会社にお伝えします。</p>
17	<p>昨今の人手不足により、外国人労働者なしでは、日本経済は維持できません。海外から積極的に人材を受け入れるのなら、異なる文化や宗教について理解を深めることが必要だと思います。</p>	<p>本県では、少子高齢化の進行による労働力人口の減少や、若者の流出等により、様々な業種において人材不足が深刻となっていることから、外国人材の受入れをはじめ、人材確保に係る基本方針をとりまとめ、多様な働き手の育成・確保に取り組んでいます。</p> <p>御意見のとおり、外国人材の受入れに際しては、単なる労働力としてではなく、異なる文化や宗教についての理解を深めた上で、地域の一員として受け入れることが重要であります。このため、本県では、地域の皆様の多文化共生に向けた意識醸成や国際理解の促進を支援するため、「国際理解支援フォーラム」の開催や「国際理解支援講師」の派遣、多文化共生に関する専門家を活用した支援事業などを実施しています。頂きました御意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
18	<p>徳島県の人口が、70万人をきったとのニュースをみました。</p> <p>私が住んでいる地域は、過疎地域ではありませんが、今後、もっともって人口が減り、高齢者が増えれば、徳島が衰退してしまい、子ども達が、将来、困ることがないのか心配になります。</p> <p>今回、過疎の方針を見ましたが、本当にやらなければいけないことが、沢山あると感じました。対策をしていくためには、沢山の金もいると思いますが、徳島が発展していくためにも、また、子ども達が、将来、徳島に居り続けられるようにするためにも、積極的に取り組んでもらいたいと思います。</p>	<p>人口減少が進む中であっても過疎地域の持続的発展を図るため、過疎対策の方針となる「徳島県過疎地域持続的発展方針」のもと、県と市町村が一体となって過疎対策を推進して参ります。</p>
19	<p>私は、徳島市内でも田舎の方に住んでいますが、先日、車を運転していると、道路上に、鹿の親子を見かけました。</p> <p>これまで、見たこともなかったので、こんなところまで、山から下りてくるのかと大変驚きました。</p> <p>今回の方針の中にも、鳥獣被害の対策の記載を見かけましたが、農業をされている方が困らないためにも、しっかりと対策をして欲しいとです。</p>	<p>農林業被害が最も多く生息域が拡大しているシカについては、令和6年度に、18,692頭を捕獲するとともに、約31kmの侵入防止柵の整備を支援しました。県では、市町村や猟友会、JA等と連携し、年間を通した捕獲や侵入防止柵の整備等、捕獲と防護の両輪で対策を推進しています。</p> <p>引き続き、営農環境の保全に向けた取組みを推進して参ります。</p>
20	<p>私は過疎地域にある実家への里帰り出産で故郷の良さを再度感じました。</p> <p>里帰り出産についての取組を進めてほしいです。</p>	<p>「徳島県こども計画」に基づき、市町村における里帰り出産も含めた妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制構築を推進して参ります。</p>

No.	御意見・御提言等	御意見に対する県の考え方
21	私の親は過疎地域に住んでいて、農業を営んでいます。年齢的にそろそろ限界です。 私自身は既に都市部で別の職業に就いており、誰か別の人が引き継いでくれる等、農地を維持していけるような仕組みの整備をお願いします。	農地の承継については、市町村の地域計画に基づく「農業委員会や農地中間管理機構による規模縮小を希望する農業者から規模拡大を希望する担い手農業者へのマッチング」などを推進しています。 引き続き、農産物の安定供給や農用地の多面的機能の維持・保全に向けて、制度の周知に努めて参ります。
22	最近、医師の高齢化や後継者不足により、病院の廃業が増えてきている。無医地区とならないよう、M&A、医院継承に取り組んでほしい。	県においては、診療所医師の高齢化が進み、承継されずに、やむを得ず診療所を閉じている状況があることから、令和7年度より、厚生労働省の補助制度を活用し、診療所の承継及び開業を支援しているところです。 また、若手医師を確保するため、徳島大学にご協力いただき、県内の公的医療機関等での勤務が義務づけられる「地域特別枠」の拡充や、研修医に対する一時金支援制度の創設など、医療提供体制の維持に向け、施策を展開しております。 今後とも、関係機関と連携し、過疎地域における医療提供体制の確保に取り組んで参ります。
23	過疎地域は病院までの距離が遠く、急な病気や怪我をした時を考えると心配です。どうにかならないでしょうか。	県においては、平成24年10月より、徳島県立中央病院を基地病院としたドクターヘリの運航を行っております（平成25年度より、関西広域連合が運航）。ドクターヘリは、救急医療に必要な医療機器や資機材を装備し、基地病院に常駐していることから、消防機関等からの要請があれば、直ちに医師、看護師が同乗し、出動が可能となります。また、基地病院離陸後、20分程度で県内全域をカバーできることから、医師不足や地理的条件などにより、医療を取り巻く環境が厳しい地域においても、活躍しております。 今後とも、頂いた御意見を参考に、一人でも多くの県民の「助かる命を助ける」ため、関係機関との更なる連携強化を図り、関西広域連合とともに、運航体制の充実・強化に努めてまいります。
24	私の地元ではサテライトオフィスが設置されて新しい交流が増えました。サテライトオフィスの誘致は引き続き推進してほしいです。	県では、これまでのサテライトオフィス誘致の成果を踏まえ、昨年度から新たに「地域協働型サテライトオフィス」の誘致に取り組んでいます。引き続き、市町村や地元事業者等との連携を密に、サテライトオフィスの誘致、定着促進による、地域経済の活性化、地元雇用の確保、地域課題の解決につながる好事例の創出などに繋げて参ります。
25	観光地に人は来ていても、案内所が閉まっていたり、パンフレットが古かったり、英語表記がなかったりすることがあります。 インバウンド需要も増えているので、多言語対応やデジタルツールを活用した案内強化が必要だと思います。	国際定期便就航によるインバウンド需要の高まりを受け、県においては、事業者が行う多言語対応や無料Wi-Fi整備など受入環境整備に対する支援、わかりやすいアクセス情報を掲載したウェブサイトの整備を行っているところです。今後も、県内DMOや観光関係事業者と緊密に連携し、観光客のストレスフリーな旅行につながる受入環境整備を推進して参ります。
26	学校の統廃合により、地域から学校がなくなれば、子育て世帯が減り、人口が減少します。そのようにならないよう、都市部以上に学校の魅力化が必要だと思います。例えば、超進学校とか、甲子園常連校にするとか。	今年度に設置した「徳島県公立高等学校の在り方検討会議」において、現在、公立高校のさらなる特色化・魅力化、学校規模や配置などについて検討しています。頂きました御意見につきましては、今後の在り方検討を進める上で参考とさせていただきます。
27	道路改良が、全然進んでいません。 過疎地域にとって道路は生命線です。 過疎地域の道路を優先して改良してください。	道路は日常生活を支えるだけではなく、農林水産業や観光などの産業振興にとって不可欠であり、自然災害への備えが重要であることから、 ・災害時における円滑な救命・救急活動や、緊急物資の輸送、復旧活動を支援する「緊急輸送道路」 ・中山間地における唯一の道路となる「生命線道路」 等の道路整備に取り組んでおります。 引き続き、必要な予算の確保に努め、県民の安全・安心な暮らしを支える道路整備を市町村とともに推進して参ります。

No.	御意見・御提言等	御意見に対する県の考え方
28	徳島県には藍染や木工など、地域に根ざした工芸・文化があり、それを活用した産業化のポテンシャルがあります。国内外への発信支援、デザイン連携、販路開拓のサポートを強化してほしいです。	県内企業の持続的な成長を図るため、昨年１２月にスタートした官民一体の地域商社と連携し、藍染や木工などの伝統工芸品をはじめとする県産品のブランディングやブラッシュアップ、国内外での観光・食・文化の一体的なプロモーションなどによる国内外への販路開拓や、県内企業の海外進出支援を推進して参ります。
29	何もかもがデジタルになってしまい、知人たちはついていけないと言っています。そういう人たちを見捨てない方針をお願いします。	頂いた御意見を参考にしながら、デジタルデバйд対策を実施し、「誰一人取り残さないデジタル社会」の実現に向け、取り組んで参ります。
30	過疎地域は買い物や医療機関にかかるのにも車で時間をかけて中心地まで行かないといけません。そういったことを解決するのが先進技術やデジタル技術だと思いますので、過疎地域の先進・デジタル環境の整備や、習得について、力を入れて欲しいです。	頂いた御意見を参考にしながら、地域DXを推進し、デジタル技術を活用した地域課題の解決を進めるとともに、デジタルデバйд対策を実施し、「誰一人取り残さない」デジタル社会の実現に向け、取り組んで参ります。
31	耕作放棄地や空き家が増え、雑草や樹木の繁茂に困ることがある。民事の問題だが、土地所有者が県外に住んでいる場合には、なかなか対応してくれない。地域の住環境に悪影響がでないよう、何らかの対策をしてほしい。	耕作放棄地の解消・発生防止については、農産物の安定供給や農用地の多面的機能の維持・保全の観点から重要と認識しており、県では、市町村農業委員会による農地パトロール（利用状況調査）や所有者への農地の利用意向調査の実施を支援しています。また、所有者からの「県外などで耕作できない」等のご相談に対し、農地の利用が確保できるよう市町村農業委員会や農地中間管理機構により「除草等管理作業の委託先」や「耕作希望農家とのマッチングを図る農用地貸付希望申出書の提出」等をご案内しております。 また、空き家対策につきましては、空き家の所有者に対する指導権限を持つ市町村に伝えるとともに、市町村に必要な情報提供や技術的助言を行って参ります。